



# Brother ScanEssentials

## ユーザースガイド

## 注意事項の定義

本ユーザーズガイドでは下記の記号が使われています。



有益なヒントや補足情報を示しています。

## 著作権

本文書の情報は予告無く変更することがあります。本文書に記載されているソフトウェアは、ライセンス契約の下に提供されています。ソフトウェアは、これらの契約条項に従ってのみ使用またはコピーできます。本文書のいかなる部分も、ブラザー工業株式会社の書面による事前の許可なしに、いかなる形式または手段によっても複製することはできません。

## 商標

Intel Core は、米国および／またはその他の国における Intel Corporation の商標です。

ブラザー製品および関連資料等に記載されている社名及び商品名はそれぞれ各社の商標または登録商標です。

## 目次

Brother ScanEssentials の概要 .....	1
動作環境.....	3
ベーシックスキャンボタンを使用してスキャンする .....	4
ファイル読み込みとスキャンを使用してファイルを変更する.....	6
スキャン設定と保存/共有設定 .....	7
確認画面でページを編集する .....	15
ワークフローを設定する.....	17
トラブルシューティング.....	19

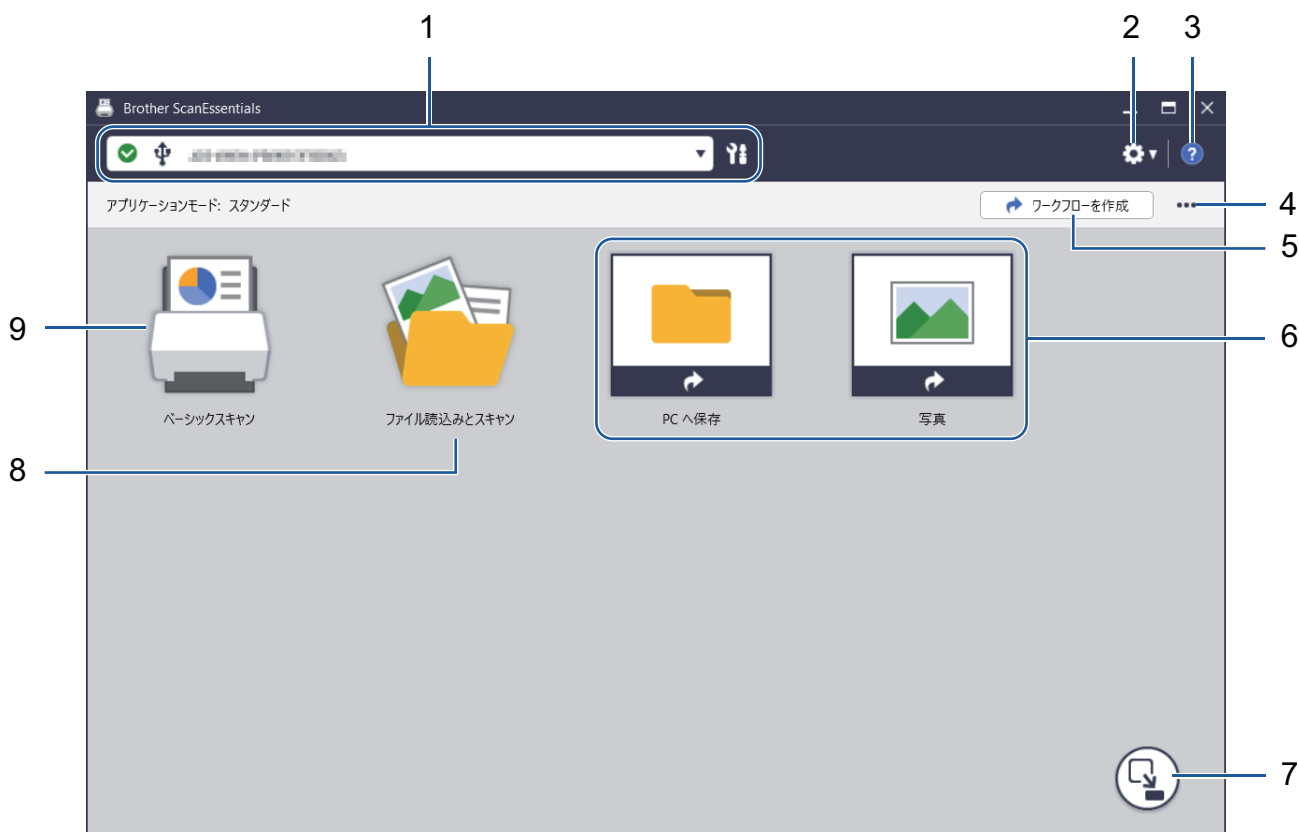
## Brother ScanEssentials の概要

BrotherScanEssentials は、Windows のスキャンアプリケーションです。BrotherScanEssentials を使用すると、スキャンワークフローが効率化され、プロフェッショナルなスキャン機能が提供されます。

ホーム画面には、スキャンするための3つの方法が用意されています。

- ベーシックスキャン**  
 ワークフローの作成など、スキャン機能に関連するすべての基本操作を実行します。
- ファイル読み込みとスキャン**  
 既存のファイルにスキャンしたページを追加したり、ページを変更します。ページを編集することも可能です。
- ワークフロー**  
 頻繁に使用するスキャン設定をワークフローとして保存します。目的に応じて複数のワークフローを作成し、使い分けると便利です。

### ホーム画面



#### 1. 製品情報

現在選択されている製品とそのステータスを表示します。製品を選択して管理することもできます。別の製品を接続するには、▼をクリックして目的の製品を選択します。

##### ステータスアイコン

アイコン	詳細
	緑色のアイコンは、正常な待機状態を表します。
	黄色のアイコンは、警告を表します。
	赤色のアイコンは、エラーが発生していることを表します。
	グレーのアイコンは、製品がオフラインであることを表します。



をクリックすると、選択した製品に関する詳細なステータス情報が表示されます。

## インターフェイスアイコン

アイコン	詳細
	USB 接続を表します。
	ネットワーク接続を表します。

### 2. アプリケーション設定/ 管理者設定

#### • アプリケーション設定

アプリケーションの一般情報を確認し、クラウドサービスを管理します。

#### • 管理者設定

IT 管理者の場合は、アプリケーションの設定、電子メールサーバーの設定、およびユーザーのアクセス許可と制限の管理を行うことができます。

一部の機能は、アプリケーションの標準バージョンでのみサポートされています。

### 3. ヘルプ

Brother ScanEssentials ユーザーズガイドをご覧ください。

### 4. ホーム画面の編集/ ワークフロー読み込み

ホーム画面を編集し、他のパソコンからワークフローをインポートします。

ホーム画面を編集するには、編集画面で**ベーシックスキャン**、**ファイル読み込みとスキャン**、または**ワークフローボタン**を選択したときに表示される編集ツールバーを使用します。**ベーシックスキャンボタン**と**ファイル読み込みとスキャンボタン**は、有効または無効にすることはできません。

### 5. ワークフローを作成

スキャンタスクを迅速かつ効率的に実行できるように、好みの設定を保存したワークフローを作成します。ワークフローを作成すると、(6) に示す 2 つのアイコンのいずれかが表示されます。

### 6. ワークフロー/ワンタッチワークフロー

アイコン	詳細
	<b>ワークフロー</b> クリックすると、スキャンする前にスキャン設定を確認できます。
	<b>ワンタッチワークフロー</b> クリックすると、カスタムスキャン設定を使用してスキャンが自動的に開始されます。

### 7. モードスイッチ

ワンタッチモードに切り替えて、ワンタッチワークフローアイコンのみを表示します。もう一度クリックすると、ホーム画面に戻ります。

### 8. ファイル読み込みとスキャン

既存のファイルを開き、スキャンした画像をページに追加したり、ページを回転または削除したり、ページの順序を変更したり、その他のページの編集ができます。

### 9. ベーシックスキャン

ワークフローの作成など、スキャン機能に関連するすべての基本操作を実行します。

## 動作環境

オペレーティングシステム	Windows 7 SP1 (64-bit) / Windows 8.1 (64-bit) / Windows 10 (64-bit) / Windows 11 Windows Server 2012 <sup>1</sup> / Windows Server 2012 R2 <sup>1</sup> / Windows Server 2016 <sup>1</sup> / Windows Server 2019 <sup>1</sup>
ハードディスク容量	400 MB を超える空き容量
ディスプレイ解像度	1024 x 768 以上

<sup>1</sup> デスクトップアプリケーションとして動作します。複数ユーザーでの同時利用は保証していません。

パフォーマンスを向上させるために、以下の環境でを使用することをお勧めします。

高解像度スキャン設定：

Intel® Core™ i5-7200U CPU @ 2.50 GHz、RAM: 8 GB、USB Port: 3.0

## ベーシックスキャンボタンを使用してスキャンする

1. 原稿をセットします。
2. Brother ScanEssentials を起動します。
3. 使用するスキャナーを選択します。
4. ホーム画面で**ベーシックスキャン**ボタンをクリックします。  
**ベーシックスキャン設定**ダイアログボックスが表示されます。

ベーシックスキャン設定

スキャナー名: [不明]

スキャン設定:

カラー設定: 1677万色カラー  
カラートーン調整 | ドキュメント

原稿サイズ: 自動

解像度: 300 x 300 dpi

両面スキャン: オフ

保存/共有設定:

ファイル形式: PDF (\*.pdf) | 設定

ファイル名: Scan  
Scan.pdf

保存場所: [不明]  
フォルダを選択 |  保存後にフォルダを開く

確認画面を見る  
 保存/共有設定を見る


すべての設定

保存設定 | プレビュー | **スキャン** | キャンセル

5. 必要に応じて、スキャン設定または保存/共有設定を調整します。  
**すべての設定**ボタンをクリックして、他の項目を設定します。詳細については、「関連情報」をご覧ください。



- **確認画面を見る**チェックボックスを選択すると、スキャンが終了した後に**確認画面**が表示されます。必要に応じて、ページの回転や削除、ページ順序の変更等ファイルの編集を行い、**保存**をクリックしてスキャンした画像を保存します。詳細については、「関連情報」をご覧ください。
- **保存/共有設定を見る**チェックボックスを選択すると、スキャンした画像を保存する前に**保存/共有設定**ダイアログボックスが表示されます。すでに設定されている**保存/共有設定**を変更することができます。必要に応じて設定を調整してから、**保存**をクリックしてスキャンした画像を保存します。
- 新しいオプションの選択が終了したら、設定を新しい初期値として上書きするか、新しいスキャンワークフローとして保存できます。**保存設定**ドロップダウンリストをクリックし、**設定を上書きする**または**ワークフローとして保存する**を選択します。

6. 必要に応じて、スキャンする前に (**プレビュー**) をクリックして画像をプレビューします。  
画像をプレビューした後、原稿を製品に再度セットする必要があります。
7. **スキャン**をクリックします。

### 関連情報

#### 関連トピック:

- [スキャン設定と保存/共有設定](#)

- 
- 確認画面でページを編集する
-

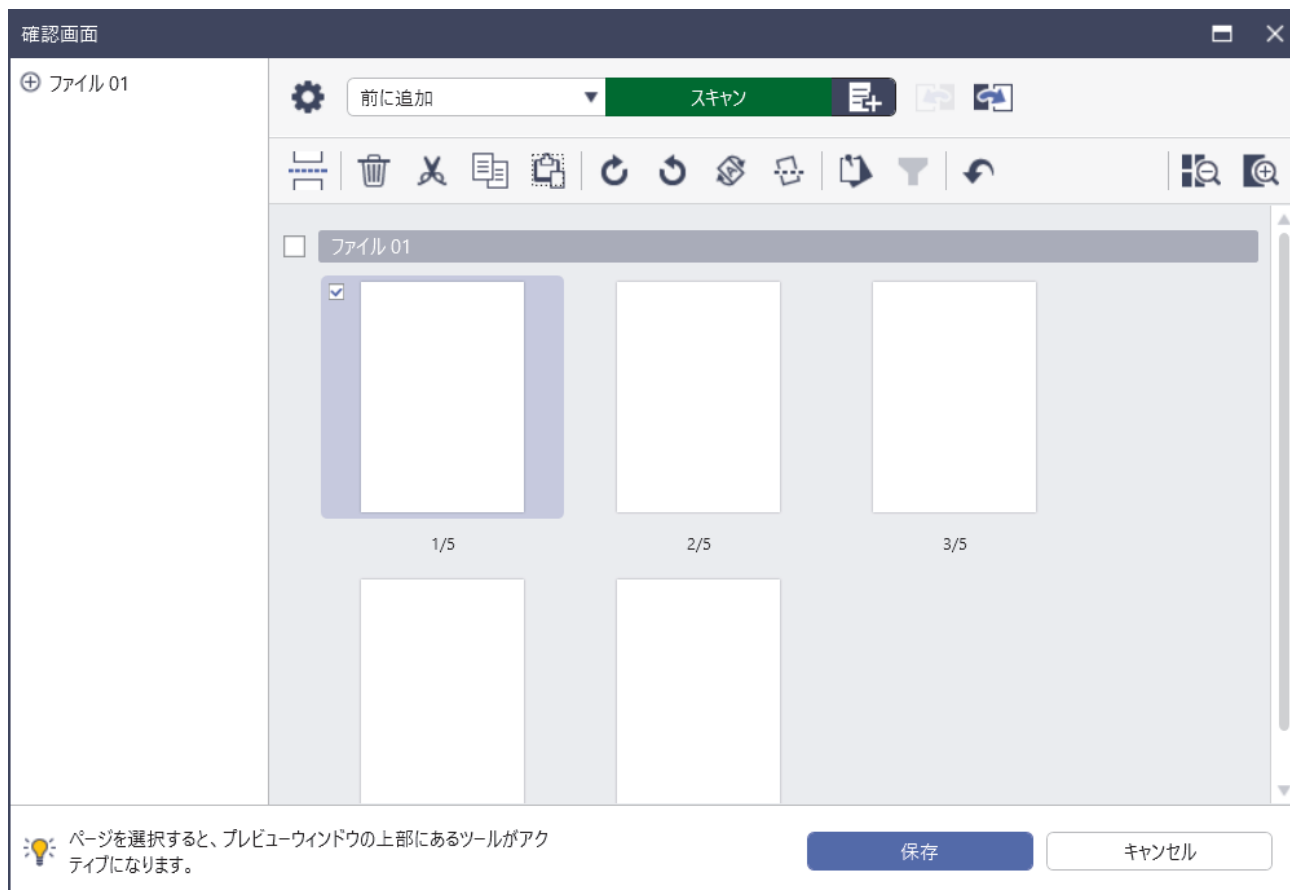


## ファイル読み込みとスキャンを使用してファイルを変更する

この機能を使用すると、必要に応じて他のファイルのページを使用して、既存のファイルのカスタマイズができます。新しい原稿をスキャンしてページ追加するか、他の保存されたファイルからページを選択して追加します。

1. Brother ScanEssentials を起動します。
2. ホーム画面で**ファイル読み込みとスキャン**ボタンをクリックします。
3. カスタマイズするファイルを参照し、**開く**をクリックします。

**確認画面**が表示されます。



4. 編集するファイルを選択し、ファイルを編集します。  
詳細については、「関連情報」をご覧ください。
5. **保存**をクリックします。  
ファイルは指定された場所に保存されます。

### ✓ 関連情報

#### 関連トピック：

- [確認画面でページを編集する](#)

## スキャン設定と保存/共有設定

オプションと値は、ご使用の製品によって異なります。

### すべての設定ダイアログボックス

すべてのベーシックスキャン設定

一般設定

スキャン設定

原稿補正

画像調整

モノクロ画像調整

搬送制御

保存/共有設定

セパレーション

インデックス

メタデータ

スキャナー名: [REDACTED]

カラー設定: 1677万色カラー

カラートーン調整 | ドキュメント

原稿サイズ: 自動

解像度: 300 x 300 dpi

両面スキャン: オフ

傾き補正  
スキャンした画像の傾きを修正します。

白紙除去  
スキャンした画像から白紙ページを削除します。

検出範囲

結果を表示

標準に戻す | 保存設定 | スキャン | キャンセル

- >> スキャン設定
- >> 原稿補正
- >> 画像調整
- >> モノクロ画像調整
- >> 搬送制御
- >> 保存/共有設定
- >> セパレーション
- >> インデックス
- >> メタデータ

## スキャン設定

### 1. カラー設定

さまざまな色の濃さの中から選択します。

- **自動**  
カラーページと白黒ページが混在する原稿の場合、カラーページはカラーモードで、白黒ページは**モノクロ**モードでスキャンされます。
- **モノクロ**  
文字原稿または線画原稿に使用します。
- **256 階調グレー**

写真やグラフィックに使用します。最大で 256 階調のグレーを使用して、より正確に細部を再現します。

- **1677 万色カラー**

最も正確に色を再現した画像を作成したい場合に適しています。最大で 1680 万色を使って画像をスキャンしますが、最も多くのメモリーを必要とし、転送時間が最も長くなります。

- **グレー (誤差拡散)**

写真やグラフィックに使用します。誤差拡散は、グレーの点を使用せずに、擬似的にグレースケール画像を作成する手法です。見た目を自然なグレーに見せるために、黒い点を一定の規則で配置しています。

### カラートーン調整

選択したカラー設定に従って、明るさ、コントラスト、シャドウ、ハイライト、およびガンマを調整します。

#### 2. 原稿サイズ

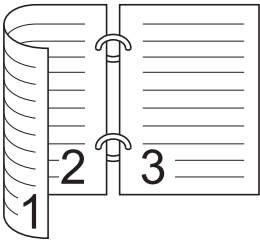

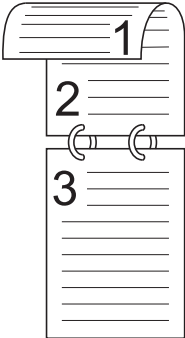
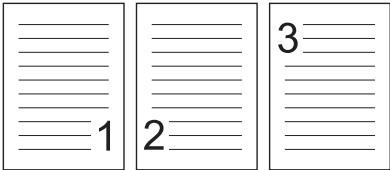
原稿サイズを選択します。

#### 3. 解像度

**解像度** ドロップダウンリストからスキャン解像度を選択します。解像度が高くなるほどスキャン画像が精細になりますが、メモリーを消費するため、転送時間が長くなります。

#### 4. 両面スキャン

原稿の両面をスキャンします。元のレイアウトに基づいてとじ方を選択し、スキャンした原稿が同じに見えるようにします。

両面スキャン設定	原稿のレイアウト	スキャン結果
オン (長辺とじ)		
オン (短辺とじ)		

#### 5. 傾き補正

製品で原稿の傾きを自動的に修正する場合は、このチェックボックスをオンにします。

#### 6. 白紙除去

スキャン結果から空白ページを削除する場合は、このチェックボックスを選択します。

##### 検出範囲

スキャンしたデータの空白ページを検出する感度を選択します。検出レベルが高いほど、空白ページが検出されやすくなります。

### 原稿補正

#### 1. 原稿後端自動検知

原稿の長さが選択した原稿サイズよりも短い場合、原稿の端を検知して自動で用紙サイズを調整します。

#### 2. 原稿向き自動判別

原稿の方向を変更します。

自動が選択されている場合、スキャンした原稿のテキストの言語と一致するように、**原稿言語選択**ドロップダウンリストから言語を選択します。

### 3. 原稿ふち調整

画像の端に一定の余白を追加または削除することができます。

### 4. 塗りつぶし

原稿の破れた部分と四辺を塗りつぶします。

- **破れ補正**

スキャンした画像の破れた部分を検出し、選択した色と範囲で塗りつぶします。

- **原稿ふち塗りつぶし**

スキャンした画像の四辺の縁を、選択した色と範囲で塗りつぶします。

### 5. パンチ穴除去

選択した色でパンチ穴の跡を塗りつぶして消します。

### 6. カラー自動検出調整

**カラー設定**ドロップダウンリストから**自動**を選択すると、色の検出レベルを調整できます。

- **カラー判定レベル**

つまみの値を大きくすると、原稿によってはカラー原稿と判断される可能性が高くなります。

- **モノクロ・グレー判定レベル**

つまみの値を大きくすると、原稿によっては白黒またはグレーの原稿と判断される可能性が高くなります。

### 7. インプリンター

スキャンした画像に、日付、時刻、原稿数、その他のカスタムテキストを追加します。

## 画像調整

#### 1. グレー (誤差拡散) レベル調整

明るさとコントラストを調整してグレー画像を作成します。

#### 2. 裏写り・地紋除去

裏写りを防止します。

##### 地色除去

原稿の背景にある地色を取り除き、スキャンしたデータを見やすくします。

#### 3. ドロップアウトカラー

スキャンした画像から取り除きたい色を選択します。

#### 4. エッジ強調

文字を鮮明にします。

#### 5. モアレ軽減

つまみを左右に動かすことで、スキャン画像のモアレを減らします。

#### 6. 縦筋軽減

スキャンした画像の縦筋を減らします。

## モノクロ画像調整

#### 1. モノクロ化レベル調整

**モノクロモード**でスキャンするときの画質を調整します。値が大きくなるほどスキャン画像内の黒の量が増え、値が小さくなるほど白の量が増えます。

#### 2. 文字補正

- **かすれ文字補正**

かすれたり欠けたりしている原本の文字を修正し、読みやすくします。

- **文字強調**

つまみの値を大きくすると、黒いテキストと線が濃くなります。

### 3. 白黒反転

スキャンした画像の白黒反転バージョンを作成します。

### 4. ノイズ軽減

スキャンした画像の背景から小さな点や斑点を取り除くことで、スキャンした画像の品質を上げます。

### 5. 罫線除去

原稿内の線を削除できます。

- **除去する線の方向**

線の方向の種類を選択します。

- **除去する線の判定基準**

- **線の最小長**

指定された長さ以上の線が削除されます。

- **最大断線距離**

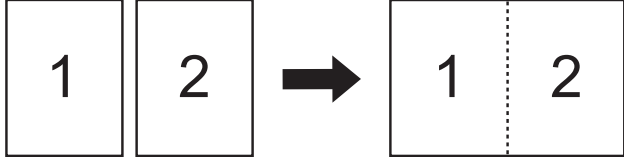
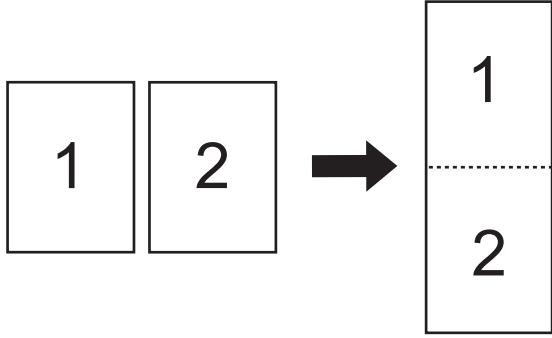
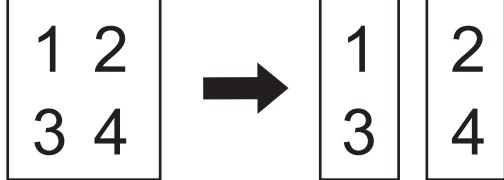
画像が色あせているなどの原因で線が切れている場合は、指定された値未満の間隔で切れている線を検出して、削除します。

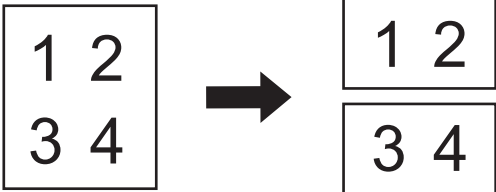
## 搬送制御

### 1. レイアウト

2 ページの原稿を 1 ページにまとめたり、1 ページの原稿を 2 ページに分割してスキャンできます。

以下のオプションからいずれかを選択します。

オプション	詳細
2 in 1 : 左・右	2 ページの原稿を横長向きの 1 ページにまとめます。 
2 in 1 : 上・下	2 ページの原稿を縦長向きの 1 ページにまとめます。 
1 to 2 : 左・右	1 ページの原稿を縦長向きの 2 ページに分割します。 
1 to 2 : 上・下	1 ページの原稿を横長向きの 2 ページに分割します。

オプション	詳細
	

## 2. キャリアシートモード

次の種類の原稿をスキャンするには、オプションのキャリアシートを使用します。

- 重要な文書（写真、契約書）
- 薄紙（領収書）
- 不規則な形の紙（切り抜き）

## 3. 1枚スキャン

ADF（自動原稿送り装置）にセットされている枚数に関係なく、一度に1ページの原稿がスキャンされます。

## 4. 継続スキャン

最初のスキャンが完了した後に同じ設定を使用して追加の原稿をスキャンする場合は、このオプションを選択します。

### 再開のタイミング

#### • 手動

最初の原稿をスキャンした後、確認画面が表示されます。**継続**をクリックして追加のページをスキャンします。スキャンが終了したら、**キャンセル**をクリックします。

#### • 自動

最初の原稿をスキャンした後、追加の原稿をセットすると自動的にスキャンを続行します。

#### - タイムアウト時間

継続スキャンが時間切れになる分数を設定します。

選択した時間内に追加の原稿が読み込まれると、スキャンが続行されます。

#### - 搬送開始までの時間

次の原稿がセットされてから給紙が開始されるまでの待機時間を設定します。

## 5. 重送検知

製品が重送を検出した場合は、すでにスキャンされたデータが保存されていることを確認してから、続きのページまたは原稿の最初からスキャンをやり直します。



厚紙をスキャンする場合は、この設定を無効にしてください。そうしないと、製品が誤って重送を検出する可能性があります。

## 保存/共有設定



一部の機能は、アプリケーションの標準バージョンでのみサポートされています。

**保存/共有**ドロップダウンリストからスキャンした画像の保存先を選択します。追加の設定は、選択した保存先によって異なる場合があります。

### 1. 保存/共有：PC

#### • ファイル形式

原稿のファイル形式を選択します。

#### • ファイル名

ファイル名を入力します。**文字列規則の挿入**ドロップダウンリストから、日付、時刻、カウンターなどの要素を挿入することもできます。

#### • 保存場所

---

スキャンしたデータを保存するフォルダを指定します。

## 2. 保存/共有：メール

### • ファイル形式

原稿のファイル形式を選択します。

### • ファイル名

ファイル名を入力します。**文字列規則の挿入**ドロップダウンリストから、日付、時刻、カウンターなどの要素を挿入することもできます。

### • メール設定

**送信先アドレス、件名、本文欄**に電子メール情報を入力します。

スキャンしたデータを宛先のアドレスに直接送信するか、電子メールをプレビューして内容を確認してから送信することができます。スキャンしたデータを直接送信するには、SMTP 電子メールの設定をする必要があります。

## 3. 保存/共有：FTP/SFTP サーバー

### • ファイル形式

原稿のファイル形式を選択します。

### • ファイル名

ファイル名を入力します。**文字列規則の挿入**ドロップダウンリストから、日付、時刻、カウンターなどの要素を挿入することもできます。

### • FTP/SFTP 設定

FTP/SFTP サーバーに接続するために必要な情報を入力します。

## 4. 保存/共有：SharePoint

### • ファイル形式

原稿のファイル形式を選択します。

### • ファイル名

ファイル名を入力します。**文字列規則の挿入**ドロップダウンリストから、日付、時刻、カウンターなどの要素を挿入することもできます。

### • SharePoint URL

SharePoint サイトのアドレスを入力します。

## 5. 保存/共有：SharePoint Online

### • ファイル形式

原稿のファイル形式を選択します。

### • ファイル名

ファイル名を入力します。**文字列規則の挿入**ドロップダウンリストから、日付、時刻、カウンターなどの要素を挿入することもできます。

### • SharePoint Online

SharePoint Online サイトのアドレスを入力します。

### • SharePoint Online

**サインイン**ボタンをクリックして、宛先の SharePoint Online にログインします。

## 6. 保存/共有：クラウドサービス

### • ファイル形式

原稿のファイル形式を選択します。

### • ファイル名

ファイル名を入力します。**文字列規則の挿入**ドロップダウンリストから、日付、時刻、カウンターなどの要素を挿入することもできます。

### • サービス名

宛先のクラウドサービスを選択し、**サインイン**ボタンをクリックしてログインします。

## セパレーション

複数のページをスキャンする場合は、スキャンした画像を、指定したセパレーターで分割して保存できます。

### 1. セパレーター選択

- **オフ**  
スキャンした画像を分割しません。
- **白紙ページ**  
スキャンした画像を、白紙を区切り文字として分割します。  
このオプションを選択すると、**白紙除去**メニューが自動的にオンになり、スキャン結果から原稿の空白ページが削除されます。  
白紙検出レベルを調整するには、**検出範囲**ボタンをクリックします。
- **ページ番号**  
スキャンした画像を指定したページ数で分割します。
- **ゾーン OCR**  
指定された領域のテキストを読み取り、そのテキストを区切り文字として、スキャンした画像を分割します。  
リストから原稿の言語とゾーン OCR 定義を選択します。事前にメタデータを設定する必要があります。  
**分離後にセパレーターを削除**チェックボックスを選択すると、区切り文字として選択したテキストを含むページが削除されます。
- **バーコード**  
指定したバーコードを区切り文字として、スキャンした画像を分割します。  
リストからバーコード定義を選択します。事前にメタデータを設定する必要があります。  
**分離後にセパレーターを削除**チェックボックスを選択すると、区切り文字として選択したバーコードを含むページが削除されます。

## インデックス

スキャン結果とともに、スキャン情報を TEXT、CSV、または XML 形式のインデックスファイルにエクスポートできます。

インデックスファイルを作成するには、**インデックスファイルの作成**チェックボックスを選択します。

### 1. ファイル名

ファイル名を入力します。**文字列規則の挿入**ドロップダウンリストから、日付、時刻、カウンターなどの要素を挿入することもできます。

### 2. 保存場所

インデックスファイルを保存する宛先フォルダを指定します。

### 3. 出力設定

インデックスファイルを各ファイルに追加するか、各ワークフローに追加するかを選択します。


## メタデータ

メタデータ機能を使用すると、バーコードまたは特定のテキスト文字列を読み取って、その領域の内容を定義できます。定義されたメタデータは、原稿分割機能のセパレーターとして使用でき、ファイル名の要素としても利用できます。

### 1. バーコード

#### • **全画面を選択/読取り領域を指定**

**全画面を選択**オプションを選択すると、バーコードを含む画面全体がメタデータに追加されます。原稿にバーコードが1つしかない場合は、このオプションを使用することをお勧めします。

バーコードの領域を指定する場合は、**読取り領域を指定**オプションを選択します。 (プレビュー) をクリックして、原稿をプレスキャンします。プレスキャン後、**バーコードピン**を使用して赤いボックスで検出されたバーコード領域を指定し、メタデータを定義します。




---

- **バーコード形式**

使用するバーコードの種類を選択します。

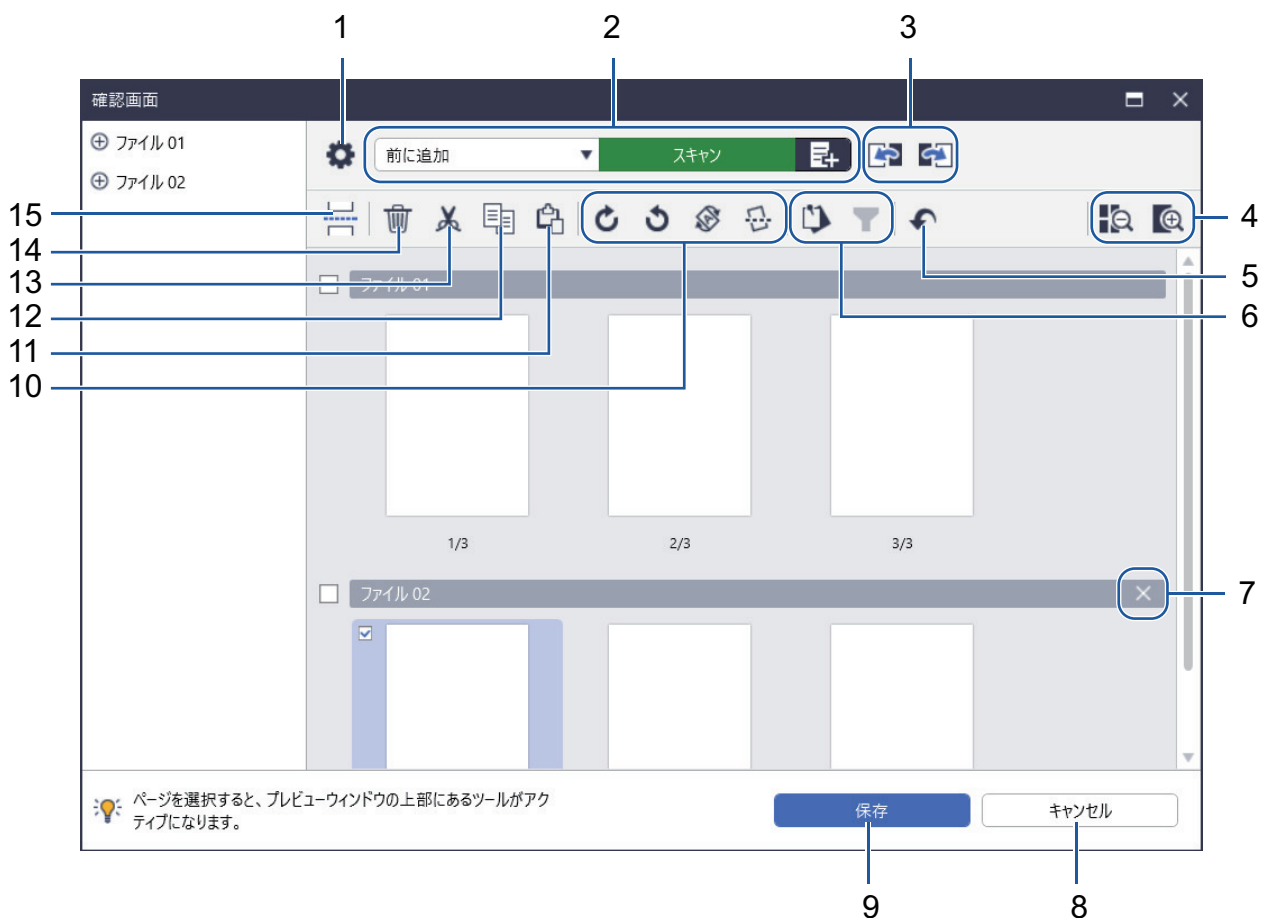
2. **ゾーン OCR**

原稿の言語を選択します。

 (プレビュー) をクリックして、原稿をプレスキャンします。プレスキャン後、**ゾーン OCR** ツールを使用して読み取るテキスト領域を指定し、メタデータを定義します。

## 確認画面でページを編集する

1つまたは複数のページを選択すると、プレビュー画面の上にあるページツールバーが表示されます。



### 1. スキャン設定

スキャン設定ダイアログボックスを開きます。

### 2. 前に追加/後に追加/置き替え

選択したページの前または後にページを追加するか、ページを置き替えます。

スキャンをクリックして原稿をスキャンし、ページを追加または置き替えます。

 をクリックしてファイルを選択し、ページを追加するか置き替えます。

### 3. 前のページに移動/後のページに移動

選択したページの前または後のページに移動します。

### 4. 縮小/拡大

ページのサムネイルを縮小または拡大します。

### 5. やり直し

直前の操作を元に戻します。

### 6. 付箋/ 付箋付きページを選ぶ

チェックまたは編集するページのみを表示します。

アイコン	詳細
	チェックまたは編集するページに付箋を貼ります。付箋を貼ったページは強調表示されます。
	付箋が貼られたページのみを表示します。

## 7. ファイルが統合されます

挿入バーを削除し、ファイルを前のファイルまたは次のファイルと結合します。

## 8. キャンセル

編集をキャンセルして、**確認画面**を閉じます。キャンセルを選択すると、スキャンした画像データは破棄されます。




## 9. 保存

ファイルを保存します。



ファイルは、**保存/共有設定**で指定された形式で保存されます。

## 10. 回転する

アイコン	詳細
	選択したページを 90 度回転します。
	選択したページを左へ 90 度回転します。
	指定した言語のテキストの向きに基づいて、ページの方向を変更します。
	スキャンした画像の傾きを補正します。

## 11. ページを貼り付け

選択したページの前または後にページを貼り付けます。

## 12. ページをコピー

選択したページをコピーします。

## 13. ページを切り取り

選択したページを切り取ります。

## 14. ページを削除

選択したページを削除します。

## 15. セパレーターを挿入

選択したページの前または後にセパレーターを挿入して、ファイルを区切ります。

## ワークフローを設定する

頻繁に使用するスキャン設定を保存したワークフローボタンをホーム画面に配置できます。これは、一般的なタスクを高速化するための迅速で効率的な方法です。スキャン設定を毎回変更する必要はありません。

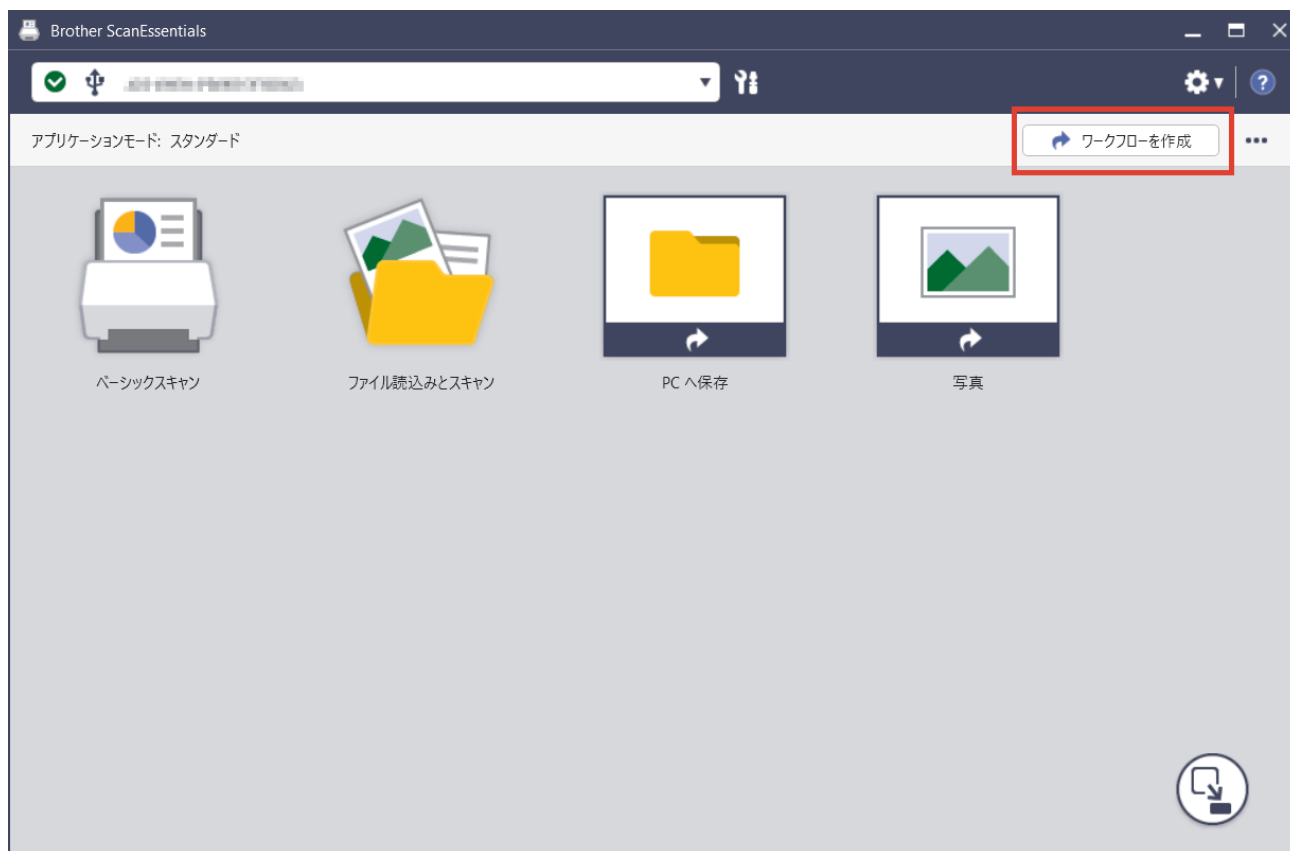


特定の原稿（名刺や写真など）をスキャンするには、すでに用意されているテンプレートを使用します。これらのテンプレートをワークフローとして保存することもできます。

- >> ワークフローを作成する
- >> ワークフローを編集する
- >> ワークフローをインポートする

### ワークフローを作成する

1. ホーム画面で**ワークフローを作成**をクリックします。



**ワークフローを作成**画面が表示されます。

2. ワンタッチワークフローを作成するには、**ワンタッチワークフロー作成**チェックボックスを選択します。アイコンがワンタッチワークフローアイコンに変わります。
3. 以下のいずれかを行ってください：
  - 新しいワークフローを作成するには、**新規作成**をクリックします。
  - テンプレートを使用するには、原稿に適したテンプレートをクリックします。
4. **作成** をクリックします。
5. 必要に応じて、スキャン設定または保存/共有設定を調整します。  
詳細については、「関連情報」をご覧ください。
6. **ワークフロー保存** をクリックします。  
作成したワークフローアイコンがホーム画面に追加されます。

## ワークフローを編集する

1. ホーム画面のワークフローアイコンを右クリックし、**編集**を選択します。
2. 必要に応じて、スキャン設定または保存/共有設定を調整します。  
詳細については、「関連情報」をご覧ください。
3. **設定を上書きする** をクリックします。

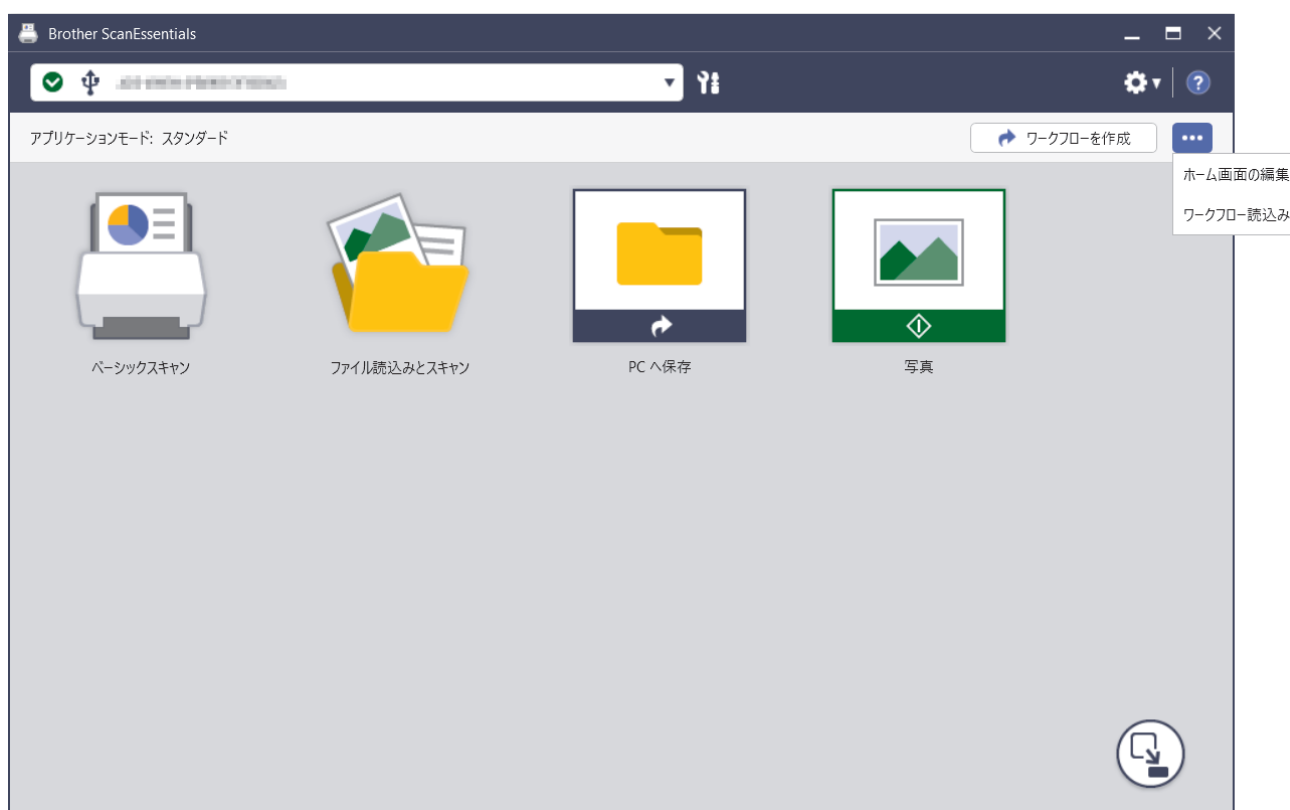


別のパソコンでワークフローを使用するには、ワークフローアイコンを右クリックし、**エクスポート**を選択してワークフローをエクスポートします。

## ワークフローをインポートする

同じモデルで同じモード（標準/ライト）でエクスポートされたワークフローのみをインポートできます。

1. ホーム画面で **...** をクリックし、**ワークフロー読み込み**を選択します。



2. インポートするワークフローを選択し、**開く**をクリックします。  
インポートしたワークフローがホーム画面に追加されます。

### ✓ 関連情報

#### 関連トピック：

- [スキャン設定と保存/共有設定](#)

## ■ トラブルシューティング

エラーが発生した場合は、「オンラインユーザズガイド」をご覧ください：トラブルシューティング。詳細については、[support.brother.co.jp/j/d/b4m2/](http://support.brother.co.jp/j/d/b4m2/)にアクセスして、お使いのモデルを選択してください。

**brother**